学校番号	２０２

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史　改訂版」（山川出版社）						
副教材等	要点整理　ゼミナール日本史（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

＊歴史資料に親しみ、歴史という時間軸を感じる。
＊過去の歴史的事実を正確に理解し、日本の現在と未来のあり方を考える。

2　学習の到達目標

＊日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。
＊各時代の特色とその変遷を考察し、日本の文化と伝統の特色についての認識を深める。
＊歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色について関心を持ち、歴史的思考力を培って国際社会に主体的に生きることに課題意識を持って、意欲的に追及している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色に関する文献、絵画、地図などの歴史資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり活用したりしている。	日本の歴史の展開、文化と伝統の特色についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検(作業プリント、ノート等)	定期考査 行動の観察 記述の点検	定期考査 行動の観察	定期考査 小テスト

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	原始・古代	・日本文化のあけぼの ・水稲農業の開始と社会生活の進展 ・東アジア文化の影響と律令制度の成立 ・摂関政治と国風文化	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:旧石器・縄文・弥生時代の人々の生活や文化、ヤマト政権による統一→律令国家の形成→平安時代にかけての社会の変化や人々の生活・文化に対する関心を高め、意欲的に探究しようとしている。 b:旧石器・縄文・弥生時代の人々の生活や文化、ヤマト政権による統一→律令国家の形成→平安時代にかけての社会の変化や人々の生活・文化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:旧石器・縄文・弥生時代の人々の生活や文化、ヤマト政権による統一→律令国家の形成→平安時代にかけての社会の変化や人々の生活・文化に関する必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり活用したりしている。 d:旧石器・縄文・弥生時代の人々の生活や文化、ヤマト政権による統一→律令国家の形成→平安時代にかけての社会の変化や人々の生活・文化について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	a・b・c 行動観察 a・b 記述点検 b・c・d 小テスト 定期考査 等
	中世	・中世社会の成立と文化の新機運	○	○	○	○	a:荘園制と武士の台頭、院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・発展・衰退にかけての社会の変化や人々の生活、それぞれの時代の文化の特色について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:荘園制と武士の台頭、院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・発展・衰退にかけての社会の変化や人々の生活、それぞれの時代の文化の特色について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり活用したりしている。 d:荘園制と武士の台頭、院政・平氏政権から鎌倉幕府の成立・発展・衰退にかけての社会の変化や人々の生活、それぞれの時代の文化の特色について理解し、その知識を身に付けている。	a・b・c 行動観察 a・b 記述点検 b・c・d 小テスト 定期考査 等

2学期	中世	・武家社会の展開と室町文化	○	○	○	○	a:建武の新政・室町幕府・南北朝の動乱から戦国時代にかけての社会の変化や人々の生活、それぞれの時代の文化の特色について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:建武の新政・室町幕府・南北朝の動乱から戦国時代にかけての社会の変化や人々の生活、それぞれの時代の文化の特色について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 建武の新政・室町幕府・南北朝の動乱から戦国時代にかけての社会の変化や人々の生活、それぞれの時代の文化の特色について、必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり活用したりしている。 d:建武の新政・室町幕府・南北朝の動乱から戦国時代にかけての社会の変化や人々の生活、それぞれの時代の文化の特色について理解し、その知識を身に付けている。	a・b・c 行動観察 a・b 記述点検 b・c・d 小テスト 定期考査 等
	近世	・幕藩体制の展開と近世の文化 ・幕藩体制の動揺と文化の成熟	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:織豊政権から幕藩体制の確立、文治政治への転換から幕政改革の断行に至る社会の変化や支配構造、それぞれの時代の文化の特色などについて、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:織豊政権から幕藩体制の確立、文治政治への転換から幕政改革の断行に至る社会の変化や支配構造、それぞれの時代の文化の特色などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:織豊政権から幕藩体制の確立、文治政治への転換から幕政改革の断行に至る社会の変化や支配構造、それぞれの時代の文化の特色などに関する必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり活用したりしている。 d:織豊政権から幕藩体制の確立、文治政治への転換から幕政改革の断行に至る社会の変化や支配構造、それぞれの時代の文化の特色などについて理解し、その知識を身に付けている。	a・b・c 行動観察 a・b 記述点検 b・c・d 小テスト 定期考査 等

2学期	近・現代	・近代への転換 ・近代国家の形成 ・両大戦間の日本と市民文化	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:幕藩体制の崩壊から明治政府による近代国家の形成、立憲国家の成立と日清・日露戦争、さらに第一次世界大戦から十五年戦争に至る過程の政治・経済・社会の動向について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:幕藩体制の崩壊から明治政府による近代国家の形成、立憲国家の成立と日清・日露戦争、さらに第一次世界大戦から十五年戦争に至る過程の政治・経済・社会の動向について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり活用したりしている。 d:幕藩体制の崩壊から明治政府による近代国家の形成、立憲国家の成立と日清・日露戦争、さらに第一次世界大戦から十五年戦争に至る過程の政治・経済・社会の動向について理解し、その知識を身に付けている。	a・b・c 行動観察 a・b 記述点検 b・c・d 小テスト 定期考査 等
3学期	近・現代	・十五年戦争と日本 ・現代の日本と新しい文化	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:十五年戦争中の政治・経済・社会の動向や戦後日本の歩み、さらに石油危機の発生や冷戦後の世界情勢の推移と日本の対応について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:十五年戦争中の政治・経済・社会の動向、戦後日本の歩み、さらに石油危機の発生や冷戦後の世界情勢の推移と日本の対応について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:十五年戦争中の政治・経済・社会の動向や戦後日本の歩み、さらに石油危機の発生や冷戦後の世界情勢の推移と日本の対応について、必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり活用したりしている。 d:十五年戦争中の政治・経済・社会の動向や戦後日本の歩み、さらに石油危機の発生や冷戦後の世界情勢の推移と日本の対応について理解し、その知識を身に付けている。	a・b・c 行動観察 a・b 記述点検 b・c・d 小テスト 定期考査 等

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現　c：資料活用の技能　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。